



学校だより

令和6年3月25日発行

3月号

校訓 自律自啓

東京都立八王子西特別支援学校

校長 坂口 しおり

1年間の感謝を込めて

校長 坂口 しおり



本日、東京都立八王子西特別支援学校の令和5年度の教育活動を無事に終了したことを御報告させていただきます。

昨年5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となり、今年度は、感染状況を見ながらですが、教育活動を広げていきました。

宿泊行事、校外学習は予定通り行うことができ、くわのみ祭や学校公開では多くの方に御参観いただき、子ども達の活躍する様子を見ていただきました。地域活動も学校間交流や喫茶提供、清掃、お祭りでの太鼓演奏と活発に行いました。

外部団体を招聘しての、プロバスケ、相撲、フルオーケストラは子ども達にたいへん人気があり、好奇心一杯で嬉しそうに参加していました。

校内では、「お花植え」「ダンス」「読書活動」「お昼の放送」「実習報告会」と新しい活動が始まり、学部、学年を超えての交流を活発に行い、互いを思いやる場面も見られました。

どの活動でも活動前に「いつ、どこで、何をするのか」をICTや写真等を使って見通しがもてるように説明し、活動後は画像等を見ながら「何をしたのか」「どう感じたのか」といった振り返りを丁寧に行っています。子ども達は期待感をもって活動に参加し、終わってからはそれぞれの言葉で感想を伝えてくれました。「またやりたい」「すごかった」「感動した」「すごく楽しかった」「素敵だった」といった称賛の言葉や、「ちょっとドキドキしたけどよくできた」「校長先生も楽しかったですか?」「～さん素敵でした」「来年もやってくれますか?」と自分の行動を振り返る、相手の気持ちを気にかける、友達をほめる、次を依頼するといった様々な言葉が聞かれました。

子ども達の中に場面と結び付けた言葉が確実に育っていることが感じられ、どの活動にも楽しく、笑顔で一生懸命取り組む姿に励まされ、子ども達のもつ限りない力を日々実感する1年でした。

新しい活動も多く、令和6年度に向けて改善を進めながら、子ども達が生き生きと取り組める様々な活動を用意していきます。本校の学校経営理念は、「社会の中で逞しく生き抜く子どもの育成」であり、「多様性を尊重し、積極的に社会的役割を果たす子供の育成」です。未来を担う子ども達の育成に携われることに感謝し、教職員が一丸となって、子ども達一人一人の可能性を見出し、確かな成長と発達を支援していきます。

保護者や地域の皆様には、この1年間、様々な面で本校の教育活動を支えていただきました。深く感謝申し上げますと共に、令和6年度もよろしくお願いたします。